

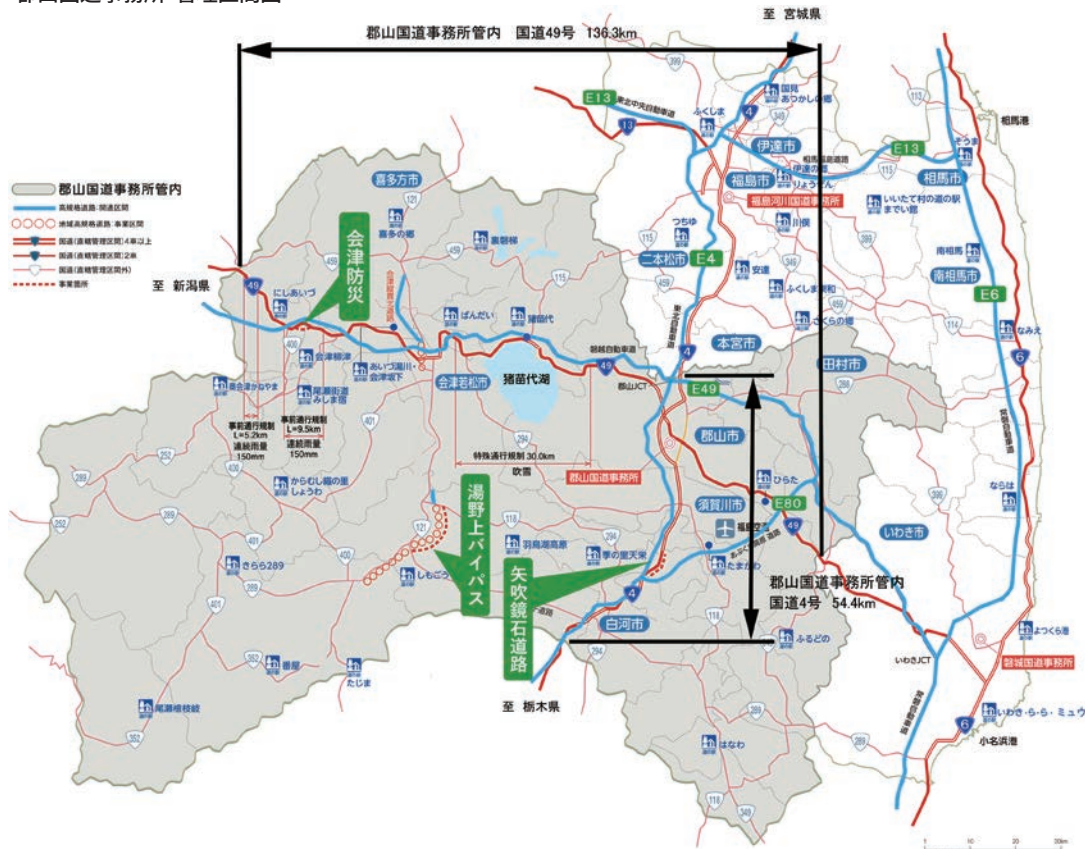
郡山国道事務所の事業概要について

国土交通省 東北地方整備局

郡山国道事務所長 松原 陽一



郡山国道事務所 管理区間図



1. はじめに

郡山国道事務所は福島県のほぼ中央に位置し、南北（関東～東北）を繋ぐ国道4号と東西（太平洋～日本海）を繋ぐ国道49号が交わる交通の十字路を有します。そして、国道4号は栃木県境から福島県本宮市までの54.4km、国道49号は福島県石川郡平田村から新潟県境までの136.3kmを管理しています。また、平成24年度より直轄権限代行事業として国道121号湯野上バイパス8.3kmの整備も実施しています。

2. 主要道路事業の概要

■改築事業

「矢吹鏡石道路」は、国道4号の矢吹町北浦から鏡石町久来石までの延長

4.8kmの4車線拡幅事業で、交通混雑の解消や安全な交通と良好な環境の確保を目的としています。並行する東北自動車の通行止め時には代替路にもな



矢吹鏡石道路（矢吹町）



湯野上バイパス（仮）2号橋（下郷町）



湯野上バイパス（仮）4号橋（下郷町）

ることから物流ネットワークの強化を図り、沿道の救急告示病院などへの安定した救急搬送環境の実現に繋げるため、今年度から用地取得に着手しています。

「会津防災事業」は、国道49号の落石危険箇所や急カーブをトンネルや橋梁で回避するバイパスです。事象発生時の全面通行止めや走行速度の低下回避、冬期交通の信頼性を高めて安全で円滑な交通を確保します。

「湯野上バイパス」は、地域の連携強化、広域観光等を支援する高規格道路です。劣悪な隘路区間や防災上対策が必要な箇所、大雨や災害による通行規制区間を回避できるようになり、日光や米沢を含めた広域的な周遊観光エリアの拡大が見込まれます。さらに、第三次救急医療施設まで60分以内で搬送できる地域が拡大することで、救命率の向上が期待されています。今年度はトンネル工事や橋梁上部工工事などの構造物工事を推進しています。

■交通安全事業

「矢吹・泉崎事故対策事業（矢吹町・泉崎村）」や「北柳原交差点改良事業（会

津若松市）」などの7事業を行っています。右折レーンの設置や線形改良による交通事故の削減、付加車線の新設による交通の円滑化と冬季におけるスタック発生車両の回避や効率的な除雪作業を図ります。

■電線共同溝事業

管内では3事業を行っており、道路の防災機能の向上や歩行空間の安全性・快適性の確保、良好な景観形成などを進めています。うち、「国道49号会津若松市内」では、今年度に管路整備を完了し、来年度に抜柱の見込みです。



交通安全事業北柳原交差点改良事業（会津若松市）

■維持管理

日々の道路巡回に加え、全ての構造物について定期的な点検を行っています。必要に応じた修繕や冬期間の除雪、災害リスク箇所を事前に把握し対策を行うなど、快適で安全な道路環境の提供を心掛けています。

3. おわりに

道の駅を中心に地域の個性や魅力を活かした取組みの協力、近年頻発する自然災害時に自治体への災害対策支援なども行っています。これからも未来へつづく、暮らしに役立つ「道づくり」に全力を挙げて取り組んでいきます。